



なでしこ

【校風】かしく なかよく たくましく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かいばいやりぬく子

令和7年6月30日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 596名

校外行事から学ぶこと

校長 村田 寿一

令和7年度がはじまり、丸3か月が経ちました。1年のうち1番日の長い夏至は過ぎ、ここのところ初夏とは思えぬ暑さが続いています。学校では、水分補給を促したり、空調を活用したりして、熱中症に気を付けながら過ごしていますが、本格的な暑さはこれからですので、より一層気をつけてまいります。さて、6月は5年生の館岩自然の教室、2年生の茨城県立自然博物館への校外学習、6年生の国会議事堂・科学技術館への校外学習と、いくつかの校外行事がありました。いずれも当初私が責任者として引率する予定だったのですが、急な体調悪化により、一番楽しみにしていた5年生との館岩に行くことができなくなってしまいました。5年生の皆さん、保護者の皆様にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。ただ、そのような状況でも、急遽私の代わりに引率に加わってくれた教頭先生を中心に、引率の先生方の指導の元、子ども達は日頃の成果を発揮し、素晴らしい態度で最高の3日間をすごしていただくことができました。しっかりとした子ども達に救われた思いでした。

館岩自然の教室をはじめとした校外行事の際、私は子ども達に、出発式で以下のような内容について話しています。

「皆さんに大切にしてほしいことがあります。それは、「友達と協力して生活すること」「感謝の気持ちをもつこと」です。…皆さんの先輩たちも、この宿泊行事を通して、一回りも二回りも成長してきました。皆さんも、この宿泊行事を通して成長してほしいと思います。」

家族旅行では、「〇時の新幹線（飛行機）に乗る」、「〇〇ランドで楽しむ」、「〇〇ホテルに泊まる」と、計画的に行程を考えて旅行されるご家庭が多いかと思います。一方、多くのご家庭では、途中で何かおいしいものがあれば「食べてみようか。」となったり、おもしろそうな観光施設（イベント）があれば、立ち寄りたくなったりしたことがあるのではないのでしょうか。しかし、学校の校外行事は違い、事前に立てられた綿密な計画に沿って行動していきます。一人が5分集合時刻に遅れると、全体の行程が5分遅れてしまったり、活動時間が5分短くなってしまったりすることになります。特に宿泊を伴う校外行事では、食事に関しては比較的スムーズにできるのですが、一緒にお風呂に入ったり、布団の上げ下ろしをしたりする経験は、日常の学校生活ではないのでかなり大変です。また、バスの運転手さん、ガイドさん、見学施設の方、宿舎の方等々本当に大勢の方にお世話になります。このように校外行事では、普段の学校生活以上に、みんなで協力する大切さ、たくさんの方にお世話になることを学びます。また、「集団宿泊活動の意義」として、国立青少年教育振興機構によれば、1 自然体験や生活体験が「主体的な学び」の基盤となる「自己肯定感」を高める 2 集団宿泊活動が「よりよい人間関係を形成」し、「対話的な学び」ができる学級づくりにつながる 3 実感をともなった理解は「深い学び」にもつながると定義されています。さらに、我々教員が指導にあたり基盤としている、「学習指導要領 特別活動」の中の遠足・集団宿泊的行事の目標は、「自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」とされています。館岩は2泊3日、修学旅行は1泊2日ではありますが、日頃の学校生活や家族旅行では決して味わうことのできない貴重な体験ができる大切な行事です。宿泊体験が、きっとこれからの子ども達の日頃の学校生活にも生きていくことでしょう。このように述べると、宿泊学習が厳しいもののように聞こえてしまうかもしれませんが、決してそのようなことはありません。毎年3学期になると、6年生とグループ昼食会を行うのですが、その中で「小学校生活での思い出は何ですか。」と聞くと、必ずと言っていいほど、「館岩自然の教室です。」「日光修学旅行です。」という答えがたくさん返ってきます。それはやはり日常では味わえない自然や観光施設、家族旅行とは違う友達とのかかわりが大きく心に残るからだだと思います。今年度の5年生は今回の宿泊行事を通して大きく成長してくれました。きっと皆さんの素晴らしい思い出ができたことと思います。他の学年の子ども達もきっと校外行事で成長してくれるでしょう。子ども達は、人との関わりによって磨かれ、成長していきます。この時期に、どんな人に出会い、どんな経験をするのかは、とても大事なことです。もちろん、大人も同じです。私自身、谷田っ子達ともっと深く関わっていきたいという思いがより一層深まるこの1学期でした。今後も、すべての教育活動を通じて、子ども達に多様な「人」と対話し、協働する力を育ててまいります。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。